

「第4回 英語でニッポンを語ろう！コンテスト in 川越」結果報告

2019年7月26日 NPO 法人英語の通じる街実行委員会



■実施概要：

日時：2019年7月6日（土）14時～17時

場所：ウェスタ川越 大ホール

後援：観光庁、埼玉県、川越市、川越商工会議所、小江戸川越観光協会、川越市教育委員会、朝日新聞西埼玉支局、読売新聞さいたま支局、産経新聞さいたま総局、毎日新聞さいたま支局、東京新聞さいたま支局、テレ玉

協力：東日本旅客鉄道(株)大宮支社、西武鉄道(株)、東武鉄道(株)、西武バス(株)、東武バスウエスト(株)、(株)まちづくり川越、東洋大学川越キャンパス、尚美学園大学、山村学園高等学校、イーグルバス(株)、(株)エスプリライン、埼玉縣信用金庫、三光物産(株)、(株)日本アポック、ヤオコー

審査員：金子廣行氏（上智大学大学院博士課程修了・元大東文化大学講師）

Zane Ritchie 氏（城西大学現代政策学部准教授）

Annelise Marshall 氏（東京国際大学 Global Teaching Institute 語学専任講師）

大谷治子氏（株式会社エスプリライン専務取締役）

ご来賓：川越市長 川合善明氏

川越商工会議所会頭 立原雅夫氏

小江戸川越観光協会 会長 糸原恒久氏
川越警察署 署長代理 生活安全課長 吉野宏紀氏
女性スポーツ団体連絡協議会 会長 田中幸子氏

■出場者：47組が応募、映像審査を経て18組が本選へ。

埼玉県を中心に、東京都、千葉県、京都府から出場。

小学生部門：5組

- ・小学2年生から出場。川越市内の小学校のほか、埼玉県内近郊の市立小学校、さいたま市にある私立開智学園小学校からは団体で出場。

学生部門（中学生～高校生）：5組

- ・中学校1年生から高校2年生まで出場。

一般部門（18歳以上）：5組

- ・大学生、会社員等

商業・サービスPR部門：3組

- ・市内の鉄道会社の職員、医療関係会社の社員、ホテル支配人

■来場者：計422名（観覧者数373名 登壇関係者ほか数49名）

■協賛：86社

■プログラム：

時間	内容
14：00 オープニング	・映像投影：NPO 法人英語の通じる街実行委員会の目的 ・MC 挨拶 来賓ごあいさつ 川越市長川合善明様 ・審査員ご紹介
14：12 学生部門発表	5組（中学生～高校生）
14：37 一般部門発表	5組（18歳以上）
15：05 English アクティビティー	川越 CLEAR' S&MJ
15：15 商業・サービスPR部門発表	3組
15：30 小学生部門	5組
15：52 休憩	
16：07 東京2020オリンピックに向けて	川越商工会議所会頭立原雅夫様ご挨拶 川越市オリンピック大会室からのご案内
16：18 国連が2030年を目指して推進する持続可能な開発目標についてニューヨーク国連本部からの視点をご紹介	国連経済社会理事会・広報局公認NGO 国連常駐代表 村田敏彦様
16：27 表彰式	
16：53 エンディング	来賓・小江戸川越観光協会会長 糸原恒久氏よりご感想 コンテスト実行委員長：谷島賢より挨拶
17：00 終了	記念撮影

■表彰

- 最優秀賞：山下 友利さん（埼玉県比企郡） 一般部門） 賞金 10 万円
「日本の飲酒文化」



- 学生部門・部門賞：
瀬戸 望結さん（中学1年・埼玉県草加市） 賞金 3 万円
「歴史的な街並みを自転車でまわろう！」



- 一般部門・部門賞：
鈴木 誠さん（京都府京都市） 賞金 3 万円
「水道水が飲める豊かさ」



- おもいが伝わったで賞：菅井 梨緒さん（埼玉県入間市）
「“はじめまして” の態度と姿勢」



●個性があふれていたで賞：KSJ Online（酒本 正夫、木下 麻里、芦沢 真、小高 歩）
（埼玉県入間郡）

「令和・川越の万葉集碑石」



■全体の流れ

オープニングは、NPO 法人英語の通じる街実行委員会が目指す世界をあらわす映像でスタート。今年の司会は俳優の岡田真澄さんのご子息、俳優・ラジオパーソナリティの岡田真善さんの爽やかな落ち着いたある進行でした。

小江戸川越親善大使 川越 CLEAR' S がゲストで登場！

学生部門と一般部門が後には、小江戸川越親善大使の川越 CLEAR' S さんとポッドキャストの人気番組『スピークアップ・レディオ』のパーソナリティの MJ さんによる English アクティビティの時間でした。来年の東京オリンピックの時に使えるゴミをテーマに〇×クイズや使える表現を教えてくださいました。

川越市オリンピック室からは、2020 オリンピックに関するご案内。

間近に迫ってきている東京オリンピックですが、川越商工会議所の立原会頭のご挨拶や、川越オリンピック大会室からご案内をいただきました。川越市はご存知の通りゴルフ会場になります。英語で応援! Nice shot! 男子が7月30日—8月2日、女子は8月5日—8日の予定です。

NGO 国連常駐代表村田敏彦様から SDG s について、国連本部からの視点をご紹介します。

持続可能な開発目標（sustainable development goals）通称 SDGs は貧困に終止符を打ち、地球環境を守り、地球に住むすべての人が平和と豊かさを得ることを目指す行動をしよう！と呼びかけています。例えば、安全な水を得られない国の方々が援助により井戸を掘り、美味しく安全な飲み水をえられたとしても、その支援が終わった後、井戸が壊れてしまったときその方たちは修復や維持に困難をきたすことでしょう。意義を理解していただいたり識字率を上げたり、持続ができるようことが大切であることが理解できました。

小学生部門では、スピーチの途中につまづいてしまった女の子がいましたが、司会が適切にフォローし、その様子がとても微笑ましく、会場があたたかな雰囲気にも包まれるという一面もありました。



観覧者の皆さんからは、「皆さんのレベルの高さに驚きました」「出場者の伝えたい気持ちが伝わってきました」「飽きずに楽しめました」「私ももっと英語を学習したくなりました」など、多数の感想をお寄せいただきました。

■アンケート：別紙参照

■メディア掲載

■掲載合計：TV 1件、新聞 4件、WEB 7件、情報紙 4件（計 16件）

■【開催前】メディア掲載

日にち	媒体名	媒体	部数等
3/20(水)	川越専科	情報誌	約 15 万部
3/25(月)	日本教育新聞	新聞	約 23 万部
4/9(火)	公募ガイド(雑誌)、WEB版	雑誌・WEB	約 10 万部
4/17(水)	朝日新聞(埼玉版 マリオン)	新聞	約 62 万部
4/24(水)	ソーシャルジャパン(リンク張り)	WEB	
5/8(水)	登竜門	WEB	
6/19(水)	川越経済新聞	WEB	
6/20(木)	川越商工会議所 会員向け雑誌 クラシック	情報紙	
6/25(火)	広報川越	情報紙	
6/26(水)	朝日新聞(埼玉版)	新聞	約 62 万部
6/27(木)	日刊工業新聞	新聞	約 42 万部

【WEBで情報掲載（無料）】

いこーよ、ことさが、EventBank、カワゴエール、ジモティー埼玉版、2019年7月の川越市イベントカレンダー、川越 水先案内版「イベント」、じゃらん「イベントガイド」、『Yahoo!Japan ロコ』、JAPAN ATTRACTIONS

■【開催後】メディア掲載

日にち	媒体名	媒体	部数等
7 初旬	beyond2020 プログラムの WEB サイト	WEB	
7/8(月)	J:com デイリーニュース	TV	
7/8(月)	み～て大宮	WEB	
7/23(火)	埼玉県HP(川越比企地域振興センターのページ)	WEB	
8/9(金)	シヨパー(川越中央版)	情報誌	約 5 万部